

## LEADBRAIN TIMES

[ AUGUST 2025 ]

会社経営に必要なひと、お金、目標を相談できるパートナーでありたい

vol. 063

MONTHLY COLUMN  
今月のお役立ちブレイン外国人雇用で  
最大80万円もらえる  
助成金老後資産形成の  
“第一選択肢”の  
確定拠出年金制度最大1500万円の  
業務効率化設備への  
補助金

MONTHLY RECOMMEND

今月のおすすめ飲食店  
北海道マル八酒場  
御徒町一号店

今月のごあいさつ

## 価値を磨く

リードブレイン代表・皆川知幸

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。梅雨明けの空に真夏の気配が感じられる頃となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今月のご挨拶では、外食業界で大きな話題となった「資さん(すけさん)うどん」の高値買取と、その裏側で投資ファンドが実行した価値向上策を取り上げ、中小企業経営のヒントを探ってまいります。個人的に多角的な観点から注目していた今回の買取案件について、先日ある動画を視聴した際に腑に落ちることが多く、そのエッセンスをお伝えしたいと思います。

## 1. すかいらーくが“高値”でも買ったかった本当の理由

昨年10月、すかいらーくホールディングスは北九州発祥のローカルチェーン「資さんうどん」を約240億円で完全子会社化すると発表しました。なお、これは同社の直近 EBITDA(利払い・税引き前・減価償却前利益)の約14倍と推定され、業界内では「プレミアム価格」と評されています。

## ①卓越したロイヤルティ

北九州では「ソウルフード」として浸透し、リピーター率は約7割とも言われます。強固なファン基盤は値上げ耐性や新業態展開のポテンシャルにつながります。

## ②24時間営業+高回転モデル

“うどん×丼×甘味”の三本柱で客単価を上げつつ、回転数を確保。ロードサイド型ながら坪当たり売上はファミレス平均を大きく上回ります。

## ③セントラルキッチンとDX化による高収益構造

製造・物流を一拠点に集約し、標準化マニュアルでアルバイト比率を高めても品質を担保でき、結果として営業利益率は同業大手の倍近い水準と報じられています。

## ④全国展開シナジー

すかいらーくが保有する購買力、立地開発ノウハウ、アプリ会員 4,000 万人超の送客網と掛け合わせれば、早期に関東・関西へ拡大できる目算が立ちます。実際、社長会見では「ロードサイド中心に年20店ペース」で出店すると明言しました。

以上を総合すると、「割高」に映る評価こそが将来のキャッシュフローを織り込んだ合理的な価格であったと理解できます。

## 2. ファンドが仕込んだ“価値向上レシピ”

今回売却したのはユニゾン・キャピタル。2018年に資さんへ出資し、7年弱で投下資本の約7.9倍を回収したと報じられています。その価値創造プロセスは、中小企業にも応用できるポイントが満載です。この詳細が驚愕でした…

## ①基盤強化

経営陣をプロ経営者+創業家のハイブリッド体制に刷新。KPIを店舗別 P/L・客数・回転率に一本化。数字を共通言語にし、決断を早くした。

## ②オペレーション標準化

セントラルキッチンの設備投資・IoT導入で歩留まり改善。配膳導線を再設計。システム投資は“コスト削減策”ではなく“利益創造策”

## ③ブランド磨き上げ

看板メニューの「肉ごぼ天うどん」を軸にテレビ・SNS発信を強化。北九州ソウルフードとしての物語を再定義。ストーリーは最強の差別化要素。

## ④成長加速

関西圏へ初進出。FC化せず直営にこだわり短期で10店開業し、在庫・人材の“シミュレーション”を蓄積。試験店出で学習曲線を先に描く戦略。ファンドは「財務+現場」の両輪で“伸びしろ”に見える化→改善→再投資のサイクルを徹底し、規模拡大前に利益率を底上げしてから成長ドライブを踏んだ点が秀逸でした。財務だけの改善化と思いきや、徹底的に現場のブラッシュアップをして価値を磨いたのです。

## 3. 中小企業が今すぐ見直せる3つの視点

## ①粗利ではなく“ユニットエコノミクス”で見る

商品・サービス単位で LTV(顧客生涯価値)と変動費を割り出し、儲かる構造かを検証しましょう。会社の総合力も重要ですが、コンテンツが大事だということです。

## ②“磨けば光る”無形資産を棚卸しする

地域密着のブランド、長年の顧客名簿、熟練職人の技術など、外部投資家は意外にここを評価します。キラキラスタートアップである必要はないんです。

## ③PMI(経営統合)を見据えたガバナンス整備

将来的にバイアウトやM&Aを検討する際には、早めに決裁権限と内部統制を整えることで、移行にかかるコストを抑えることができます。

## 4. おわりに

外部資本の活用は「経営の主導権を奪われる」リスクと捉えられがちですが、本質は“事業の可能性を数倍に引き伸ばす共同経営”です。資さんうどんの事例は、地場企業でも【独自価値の明確化】と【収益モデルの磨き上げ】を怠らなければ、適切なパートナーとともに全国区へ飛躍できる好例と言えるでしょう。当社では、貴社の強みを可視化し、投資家や事業会社とのアライアンスを見据えた事業計画策定を支援しております。成長資金の調達や事業再構築でお悩みの際は、いつでもお気軽にご相談ください。

知らなきゃ損！

# 外国人雇用で最大80万円 もらえる助成金 今が申請のチャンス！

外国人  
雇用

人手不足が深刻化するなか、若く意欲的な外国人材の活用へ乗り出す企業が増えています。一方で「すぐに辞めてしまう」「社内コミュニケーションが難しい」といった課題も少なくありません。こうした中、厚生労働省が2025年4月に新たに改定した「人材確保等支援助成金(外国人労働者就労環境整備助成コース)」が、今注目されています。いくつか

設定された助成金に関する要件を満たせば、**最大80万円の助成金**が支給される可能性があります。とはいえ、「そもそも制度を知らない」「要件が細かそうで手が出せない」と感じている方も多いのではないのでしょうか。本記事では、**外国人雇用に関する助成金とリードブレインが提供するサービス**についてご紹介します。

## 外国人を1名でも雇用していれば対象に

この助成金の対象は、雇用保険に加入している外国人労働者を**1名でも雇用しているすべての事業主**です。業種や規模を問わず申請が可能で、飲食・小売・製造・介護など、幅広い業界で活用の余地があります。制度の目的は、外国人が長く安心して働けるよう、企業側が就労環境を整備すること。その取り組みに対して、**設定された1つの措置を実施することに20万円、最大4つの措置の実施で合計80万円**が支給されます。



## どんな整備をすればいい？ 取り組み例

助成金の支給対象となるのは、外国人労働者にとって「働きやすい環境づくり」に関する以下のような取り組みです。注意点として、すでに実施済みの措置は対象外となります。これから導入する措置が助成の対象となるため、これから始める方は今がチャンスです。**(1及び2の措置に加え、3～5のいずれかを選択)**

**1 雇用労務責任者の専任**

**3 外国人専用の相談窓口の設置**

**2 就業規則の多言語化**

**5 社内マニュアルの整備と翻訳**

**4 一時帰国のための休暇制度の整備**

**すでに実施済みの措置は対象外となります。**これから導入する措置が助成の対象となるため、これから始める方は今がチャンスです。

## 一気通貫でサポート：リードブレインの支援体制

リードブレインでは、こうした**助成金の申請から受給までをトータルでサポート**しています。単なる書類作成の支援にとどまらず、実際の措置(翻訳・制度設計・就業規則の見直しなど)も同時に請け負うことが可能。助成金申請に必要なアクションを、社内の専門チームでまるごと引き受けます。助成金の要件を的確に見極め、書類の整備や社内制度の対応までスムーズにサポートできるのは、**労務の専門家であるリードブレイン**ならではの強みです。



**顧問契約がある場合**

成功報酬として**申請額の10%**  
及び**受給額の10%の合計20%**  
例: 60万円の受給で12万円

**顧問契約がない場合**

**着手金5万円**  
+ 成功報酬として**申請額の10%**  
及び**受給額の15%の合計25%**  
例: 60万円の受給で20万円

## 助成金申請には「半年間の定着」が条件。リスクは最小限に

申請には一定の要件がありますが、もっとも注意すべきなのは「**措置を導入してから半年間、外国人労働者が定着していること**」という点です。万が一、外国人労働者の離職率が一定の値を超えてしまったら助成金が支給されません。とはいえ、このリスクに対してもリードブ

レーンでは**外国人労働者雇用労務責任者講習**の受講によって、離職期間の分散化等によるリスク回避策をご提案。申請による事業主に起こり得るリスクを最小限に抑えます。

## 今こそ申請のタイミング：制度改定と財源の背景

この助成金制度は**2025年4月に改定されたばかり**で、従来よりも企業側のメリットが大きくなっています。以前は「多言語化等の環境整備にかかる経費の一部補助」だったのが、現在は「制度を導入したこと自体」が評価され、**1措置ごとに20万円が支給される仕組み**に変更されました。つまり、**より助成を受けやすくなった**のです。ただし、**財源には限りがあるため、対象事業所は早めの申請をおすすめいたします。**



**申請リスクほぼゼロ**

制度改定されたばかりのため、「そもそもこんな制度があるとは知らなかった」という企業も少なくありません。本制度では、制度要件を満たせば多くの事業所で受給が受けられます。さらに、リードブレインでは、申請にかかる手間や、受給条件となる定着期間(半年間)での離職リスクも、専門的な支援により最小限に抑えることが可能です。「うちも対象かもしれない」「詳しく話を聞きたい」と感じたら、まずはお気軽にご相談下さい！

**注目の助成金、まずはご相談を！**

# 中小企業こそ導入したい 老後資産形成の“第一選択肢” の確定拠出年金制度

新サービス開始のお知らせ

労務

こんなお悩みありませんか？

なるべく節税して、  
資金繰りに  
余裕を持ちたい

福利厚生を  
充実させたいけど、  
余裕がない

そんなお悩みを抱える中小企業の経営者にこそ、  
いま注目してほしいのが  
**企業型確定拠出年金(企業型DC)**です。

「確定拠出年金なんて、大企業の制度でしょう？」と思われるかもしれませんが、実際に、これまでは導入のハードルが高く、中小企業には広がっていませんでした。事実、導入している中小企業は**全体のわずか約2%**にとどまります。しかし近年、制度が見直され、中小企業でも導入しやすい「総合型・選択制プラン」が登場。**役員1名からでも導入でき、大幅な節税と福利厚生の充実を同時に実現できる制度**となっています。2025年7月、リードブレーンではこの制度を**中小企業向けにワンストップで導入支援**する新サービスを開始しました。制度のメリットと、なぜ今この制度に注目すべきなのか、わかりやすく解説します。

## 公的年金に頼れない時代、注目集まる「企業型DC」

**確定拠出年金(企業型DC)**は、企業が掛金を拠出し、従業員自身が運用先を選んで老後資金を積み立てる私的年金制度です。特徴は、掛金が**全額非課税(所得税・住民税・社会保険料の算定外)**であること。さらに、運用益も非課税、受給時には退職所得控除が使えるなど、**税制上の優遇**が極めて大きい点です。最近では「**選択制DC**」と呼ばれる仕組みも登場。これは、給与の一部を掛金に充てるスタイルで、企業側に新たな資金負担が発生しないため、導入のハードルが大きく下がりました。役員も対象となるため、経営者自身の老後資産形成にも役立ちます。

## 社会保険料の削減と福利厚生費への計上で企業の負担軽減に

企業側にとってのメリットは税制優遇ではありません。企業型確定拠出年金を導入すると、掛金が社会保険料の算定対象から除外されるため、**企業が負担する社会保険料を軽減**できる効果も期待で

きます。また、給与の一部を掛金に充てた場合、その分を「福利厚生費」として計上できるため、**経営面から見ても非常に合理的な制度**といえます。

## 福利厚生の充実で採用力・定着率アップ

将来の安定が描きづらい昨今では、**福利厚生の充実**は「**会社選びの基準**」の一つとなりつつあります。特に若年層や子育て世代の従業員にとって、将来の備えを無理なく始められ、お金についての教育も受けられる確定拠出年金制度は大きな魅力となります。制度導入後は、求人票に「**確定拠出年金あり**」と記載することで、充実した福利厚生を提供しているという**企業イメージの向上**にもつながります。

## 導入事例イメージ

### ▶ 従業員10名規模の 飲食業A社(仮)のケース



東京都で飲食業を営むA社では、社長を含む役員1名と正社員2名を対象に、選択制DCを導入しました。社員の月額掛金は2万円、役員は5万円を設定。住民税、所得税及び社会保険料の節税効果は、企業負担及び個人負担を合計すると年間約62万円となります。社員説明会を実施し、制度の仕組みと将来の資産形成の意義を共有した結果、社員からも「**お金の勉強ができてよかった**」「**福利厚生が手厚いと感じた**」と高評価を得ています。

## 制度導入にあたっての留意点

確定拠出年金制度には多くのメリットがある一方で、導入時に留意すべき点もいくつかあります。とはいえ、これらの課題は、導入前の丁寧なシミュレーションや社員への十分な説明、制度設計

から運用までをトータルで支援する外部パートナーの活用によって対応することが可能です。

### ✔ 60歳までは引き出せない

掛金は原則60歳までは引き出すことができません。

### ✔ その他給付金減額の可能性

社会保険料が軽減される分、将来の年金受給額及び傷病手当金や労災給付等が下がる可能性があります。

### ✔ 投資教育の義務化

従業員に対する初回および年次の「投資教育」が義務づけられています

### ✔ 制度整備が必要

導入には、就業規則の改定や社内制度の整備が必要です。

## リードブレーンのワンストップ導入支援

こうした制度の複雑さや社内調整の手間を減らすべく、リードブレーンでは、2025年7月、確定拠出年金の導入を支援する新サービスを開始しました。確定拠出年金の導入には、就業規則の変更や給与明細記載事項の変更などが伴い、専門家の支援が不可欠となります。そうした点もリードブレーンではワンストップで対応できるようサービスを整えております。これにより、「興味はあるけど自社では無理」と感じていた中小企業でも、導入から運用までを安心して進めることが可能です。

## まずは無料相談から

確定拠出年金制度自体は始まって20年以上。しかしながら、中小企業での導入率は2%程度に留まっています。節税・福利厚生の充実・老後資産形成という3つの視点から、「**企業型DC**」は経営者にも社員にも喜ばれる制度となっています。制度の詳細を知りたい方、導入を検討してみたい方は、ぜひ一度ご相談ください。無料相談を随時受け付けています。

申請から最短3カ月で入金！

# 最大1500万円の 業務効率化設備への補助金

新サービス開始のお知らせ

2025年7月より、リードブレインでは「省力化投資補助金(カタログ型)」の申請支援サービスを開始しました。人手不足や業務効率化の必要性が高まる今、設備投資に対する公的な補助制度を活用することは、企業経営の大きな助けとなります。今回は、申請のしやすさやスピーディな補助金交付が魅力の「カタログ型」について、同制度のポイントとリードブレインの支援サービスの特徴をご紹介します。



「カタログ型」はスピード重視の企業に最適



省力化投資補助金には「一般型」と「カタログ型」があります。「一般型」は、企業ごとに最適な設備を自由に選定して申請できる一方、見積の取得や効果説明など書類作成に手間がかかり、採択されるまで数カ月、入金まで1年近くを要するケースも少なくありません。それに対し「カタログ型」は、あらかじめ国が審査・登録した製品の中から選んで導入する制度で、申請はシンプル。書類作成の負担が少なく、申請から補助金入金まで最短3カ月とスピーディに進みます。導入スケジュールにも影響を与えずに、ビジネスの流れを止めずに補助を得られる点が魅力です。

最大1,500万円の補助が可能。飲食業にも好相性

本制度は、中小企業や小規模事業者のうち、人手不足に悩む製造業・小売業・サービス業などを対象としています。補助率は1/2以下ですが、従業員数などの条件に応じて最大1,500万円の補助を受けることができます。特に飲食業との相性もよく、製品は日々追加されていますが、現在、カタログに登録されている飲

食業向けの製品は以下の8点です。(2025年6月18日時点)いずれも業務効率化や人手不足対策につながる設備であり、店舗のリニューアルや同業態店舗の新規オープンを計画している企業には絶好のチャンスです。

- ✓ 清掃ロボット
- ✓ 配膳ロボット
- ✓ 自動フライヤー
- ✓ 券売機
- ✓ 自動精算機
- ✓ 入出金機
- ✓ 食品包履機
- ✓ スチームコンベクションオープン



専門家のフルサポートで、初めてでも安心

リードブレインの支援サービスは、補助金に不慣れな企業でも安心して取り組めるよう、「業務課題の棚卸」から「機器選定アドバイス」「申請書類作成のサポート」「実績報告サポート」まで、ワンストップで対応する体制を整えています。また、タスク管理やスケジュール管理、提出書類の整理といった細かな業務もお任せいただけるため、申請負担の大幅な軽減が可能です。



▼ 料金体系は以下の通りです(税別)

着手金	成功報酬※	効果報告
5万円	交付決定金額の10% (最低成功報酬15万円)	最大5万円 (報告内容によって変動)

※採択後にご請求



「補助金制度は複雑で難しそう」「採択されなかったらどうしよう」というお声もよく耳にしますが、リードブレインでは事前に丁寧なヒアリングを行い、申請内容の整理から交付後の報告までを伴走型で支援。不採択や書類不備のリスクを軽減し、導入スケジュールに沿った最適なプランをご提案しています。

今、申請すべき理由とは？

省力化投資補助金(カタログ型)は開始されて約1年の制度であり、「この補助金のことを知らなかった」という企業も少なくありません。しかし、補助金予算には限りがあり、申請が集中すれば競争率も上がるため、早期の申請は採択において有利です。また、将来的な設備更新や新店舗計画の際に補助金の存在を知っていれば、タイミングを逃さず有効に活用することができます。



業務効率化に向けて、補助金活用をご検討ください



「そろそろ設備を新しくしたい」「新店舗を出したいけれど初期費用が不安」——そんな皆様こそ、ぜひ知っていただきたい制度です。省力化投資補助金(カタログ型)は、比較的手続きが簡単でスピード感もあり、初めて補助金を申請される企業にもおすすめです。制度の詳細や、自社に合った活用方法についてのご相談は随時承っております。ご興味のある方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

LB広報部チョイスの  
今月のおすすめ店



今月の担当:増田

北海道マルハ酒場 御徒町一号店

学生に愛される北海道の肉！  
御徒町のコスパGoodなカルビ丼！

マルハのカルビ丼は、北海道大学のすぐ近く、大通やすすきのからわずか10分の北18条駅すぐそばにあるお店で、地元の大学生やオフィスワーカーの方々に愛されています。男の子(?)の像が店頭でお出迎えしてくれる店で、北海道産の美味しいお肉をリーズナブルな価格でお腹いっぱい楽しめるのが魅力です。「北海道マルハ酒場 御徒町一号店」は、札幌のカルビ丼を東京でもいただけるお店。ランチタイムは丼もの中心で営業しており、今回注文したのは2種類の肉と一緒に楽しめる「合盛カルビ丼」。肉厚で柔らかな北海道産牛肉と留寿都産豚肉が特徴です。濃いめのタレが肉とご



飯に絶妙に絡み合い、食欲をそそります。またさらに、付け合わせのキムチは、本格的な韓国料理店に引けを取らない美味しさで、サイドメニューで追加注文する人も多いです。創業当時の札幌本店では「牛カルビ丼」しかなかったメニュー。それも今は紹介した合盛カルビ丼の他にも「もち豚カルビ丼」など、さらに充実。また、夜は北海道産の魚を売りとする海鮮居酒屋として営業(カルビ丼もメニューにあり)しており、こちらも絶品です！ すぐ近くには二号店もあり、こちらには札幌にいる男の子(?)がお出迎えしてくれます。フレンドリーな店員さんがお迎えしてくれるお店で、北海道の美味しいお肉や海鮮を味わってみてはいかがでしょうか？



北海道マルハ酒場 御徒町一号店

〒110-0005 東京都台東区上野5丁目25-8 御徒町グランディアビル1F  
TEL:03-5816-2911

MONTHLY NEWS 今月のお知らせ

リードブレイン  
LINE 公式アカウント  
好評配信中！

忙しい経営者のあなたへ /

- 最新のお役立ち情報をリアルタイムでお届け
- 1対1のLINEトークでいつでも気軽に相談



お友だち登録方法

お友達登録はこちら /

[友達追加] → [QRコード]  
→ 右のQRコードを読み取る



もしくはLINEアプリ内の公式アカウント一覧検索から「リードブレイングループ」を検索

